

令和7年 新年互礼会について

法人管理委員会

令和7年 新年互礼会を執り行います。
年頭挨拶と希望の新春を祝福し、会員の皆様ならびに来賓との交流を一層深めたいと存じます。

ぜひとも交流していただきたく存じます。皆様の参加お申し込みを心よりお待ちしております。

日時

令和7年1月4日 土曜日
〈受付〉17:30 〈開宴〉18:00～20:00

会費

12,000 円

会場

シティプラザ大阪 2 階「旬の間」
大阪市中央区本町橋 2 - 3 1
TEL : 06 - 6947 - 7888

申込
締切

令和6年12月15日 日曜日
〈申込宛先〉大阪府鍼灸師会 事務局まで
TEL : 06-6351-4803 FAX : 06-6351-4855

お申込みは

- ①申込みフォームから入力(右記QRコードからお願いいたします)
- ②電話で申し込み TEL:06-6351-4803
- ③ファックスで新年互礼会参加の旨、所属地域と氏名・連絡の取れる電話番号(携帯電話)をお忘れなくご記載の上 FAX:06-6351-4855 大阪府鍼灸師会事務局までご連絡をお願いいたします。
締切りは12月15日(日)です



〈申込みフォーム〉

重要

新入会オリエンテーションのご案内 (正会員に入会)

本会では、新年互礼会にあわせて「新入会員オリエンテーション」を開催しております。
新入会員オリエンテーションは当会の活動・意義・運営などを各事業担当者からご案内する場として開催しております。
主に理事と同期入会の先生方との顔合わせとなり、ご入会後に感じた質問などあれば理事が直接回答いたします。
本年度の対象者は2024年1月1日以降に入会が認められた方となります。別途案内状をお送りしていますのでご確認ください。
オリエンテーション終了後、新年互礼会(懇親会)にご招待いたします。
オリエンテーション・新年互礼会、どちらも参加費用は掛かりません。
服装の制限はありませんが、新年互礼会(懇親会)を考慮してお越し頂ければと存じます。

★ 新入会員(令和6年1月～)の方は必ずご参加ください ★

日時

令和7年1月4日(土)
15時30分～16時45分

会場

シティプラザ大阪 2 階「AYA- 彩 -」
【会場案内】
シティプラザ大阪
住所: 大阪市中央区本町橋 2 - 3 1
<https://cityplaza.or.jp/wp2024/>

- オリエンテーション対象者には案内状をお送りしています。
出欠回答を12月15日(日)までにご返送ください。
- オリエンテーションは全新入会員の皆さんには原則参加をお願いしております。
必ず返信をお願いします。
オリエンテーション終了後の新年互礼会(懇親会)は自由参加ですが、新入会員は会費無料ですし、先輩鍼灸師のお話を聞くことの出来るチャンスなので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております

CONTENTS

F1 令和7年 新年互礼会について
新入会オリエンテーションのご案内

F2 若手鍼灸師・鍼灸学生のための
「繋がる」鍼灸フェス

F3 若手鍼灸師・鍼灸学生のための
「繋がる」鍼灸フェス
アンケート結果・考察

F4 府民公開講座
第19回大阪聴力障害者協会
ゲートボール大会に参加して
交野市健康福祉フェスティバル
ケアサポートボランティア募集

F5 令和6年度9月度学術講習会
「美顔に対する美容鍼」
「美顔に対する美容鍼 実技編」

F6 令和6年度11月度学術講習会
男性不妊症の基礎知識

F7 霊枢勉強会報告

F8 令和6年度
12月・1月研修事業のご案内
公益社団法人大阪府鍼灸師会
主要行事予定表

若手鍼灸師・鍼灸学生のための「繋がる」鍼灸フェス

2024年9月29日（日）〈会場〉森ノ宮医療学園専門学校アネックス校舎4階 参加者数:220名

はじめに

2024年9月29日（日）に近畿ブロック青年委員会主催、「若手鍼灸師・鍼灸学生のための『繋がる』鍼灸フェス」が開催されました。今回のイベントは、未来の鍼灸業界を支える若手鍼灸師や学生の皆さん、企業、治療諸派団体が交流し、繋がりを作る場として企画し、当日は活気と熱気に包まれた1日となりました。

開催の背景と目的

本フェスのテーマは「繋がる」。若手の鍼灸師や学生の皆さん、企業、治療諸派団体が同じ志を持つ仲間として交流し、お互いに繋がり成長できる場を提供することを目的としました。鍼灸業界は個人の力も大事ですが、世代や経験を超えた繋がり大きな力となります。このイベントを通じて、未来の鍼灸業界に新たな可能性をもたらしたいと考えました。

イベント内容

当日はセミナー、治療デモンストレーション、ブース展示、大交流会などで距離感の近い、参加型のプログラムが多数行われました。特に、治療デモンストレーションでは参加者が間近で各治療諸派団体の手技などをみる事で、様々な流派のある鍼灸の魅力を感じ、充実した時間を過ごせた、名前は聞いた事あったけどやっと実際に見ることができた、などの声が多く寄せられました。

また、セミナーでは、各分野（美容・婦人科・スポーツ）に精通されている先生や、鍼灸分野を幅広く研究されている先生に鍼灸の素晴らしさやこれからどのように活躍していくかなど大変学びあるお話をいただきました。

鍼灸フェス終了後には同会場にて軽食とドリンクを準備し大交流会を行いました。企業様からのプレゼント企画や鍼灸師同士での日々の施術に関する熱い討論など終始盛り上がりのあるイベントとなりました。

ご参加いただいた皆様へ感謝

今回のようなイベントを鍼灸師会・業界団体が今後も企画し若手鍼灸師・鍼灸学生にとって有益な繋がりを得れる場を提供したいと考えております。

本イベントにご参加くださった若手鍼灸師・学生の皆様、そしてご協力いただいた企業様、治療諸派団体様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のおかげで「繋がる」鍼灸フェスを素晴らしいものになりました。これからも共に学び、成長し合える場を提供し続けたいと思います。

今後も皆様とお会いできることを楽しみにしています！

参加者の皆様、そして支えてくださった全ての方々へ、改めて心からの感謝を申し上げます。

（近畿ブロック青年委員長 岩津優希）

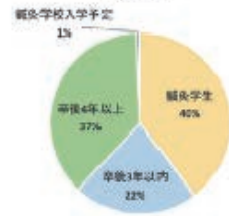




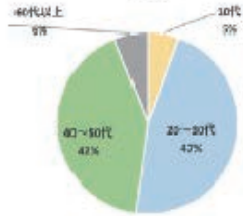
若手鍼灸師・鍼灸学生のための「繋がる」鍼灸フェス アンケート結果

■事前アンケート

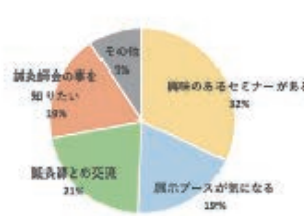
鍼灸歴



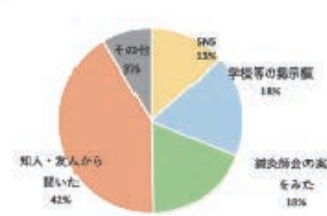
年齢



参加目的

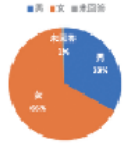


今回のイベントを何で知りましたか？



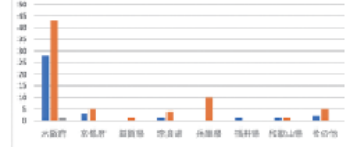
■参加者アンケート 回答率49.5% (参加220名 回答(109名))

1 アンケート回答男女比



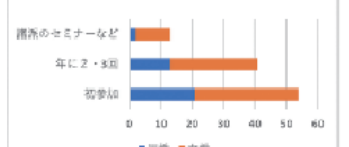
①男女比
女性の方が参加人数も多く積極的に交流を深める結果が反映されてると思われる。よって今回の情勢をターゲットにしたセミナーなどは大変好評を得たと印象があると同時に、女性鍼灸師の活躍できる場や、女性の意見の通りやすい鍼灸業界全体の取り組みが必要だと思われる。また、男性参加者の増加を考える必要性がある結果となった。

2 勤務先または居住地



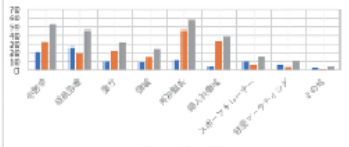
②勤務先または居住地
今回大阪で開催した事もあるが大阪参加者が圧倒的に多い、今後、近畿ブロック内で大阪以外の参加者を集めるには何か策を考える必要があると思われる。
各近畿ブロック師会の良策を期待したい。

3 イベント参加経験



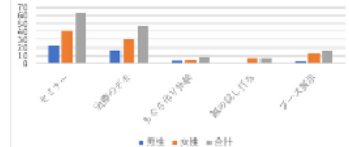
③イベント参加経験
初参加の方の割合が最も多く、年に2、3回の方、諸派のセミナーに参加しているの順になっている。考えるに鍼灸イベントそのものが少なく気軽にいける体験の場がそもそも無いと思われる。諸派セミナーはお金を払って行くので金銭に余裕がなければいけないが、今回のイベントでは参加費無料で鍼灸の魅力を沢山の方に知って頂くいい機会になったと思う。よって今後もこのような気軽に参加できる鍼灸イベントの有用性を実証できたのではなかろうか。

4 興味のあるジャンル（複数回答）



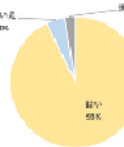
④興味のあるジャンル
美容鍼灸が多く、中医学、経絡治療の順に興味を持たれる方が多かった。女性参加者が多かったのも要因だと思われる。美容鍼灸が社会に浸透し、女性鍼灸師が社会的地位を築いてきている印象を受けるといった結果となった。美容だけでなく鍼灸の強みを発信できるようにする必要があるとも考えらる。

5 参加してよかったと思うもの（複数回答）



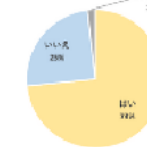
⑤参加してよかったと思うもの
セミナーが最も多く、治療デモ、企業ブースの順が多かった。このたびのセミナー及び各諸派の施術デモがいかに魅力であったかが垣間見える結果となった。企業ブースでも沢山の商品体験や、デモがあり経験に勝るものはないと思われる。各セミナー講師の先生方、諸派の先生方、企業様のご尽力の賜物であると思われる。一度にこれだけのセミナーやデモをみる機会はなかなかないので、今後も継続し各諸派及びセミナーや企業商品を魅力的に発信し、鍼灸業界全体を盛り上げる懸け橋となれるのではなかろうか。

6 日本鍼灸師会に興味は持てましたか？



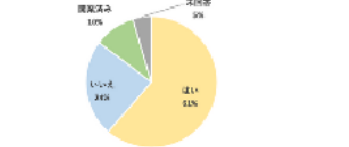
⑥日本鍼灸師会に興味は持てましたか？
⑦鍼灸師会の案内をみた事がありますか？
全体で9割の参加者に興味をもっていただき、7割以上の方が集団活動を認知している結果となったが、なぜか会に結びつかないのかを考える結果となった。認知していない3割の方に認知していただくより、7割の認知している方々に入会をアピールしていくのが良いのではと思われる。もっと距離感の近い集団のあり方を模索する必要があるのではなかろうか。

7 日本鍼灸師会や各諸派の鍼灸師会の案内を見た事がありますか？



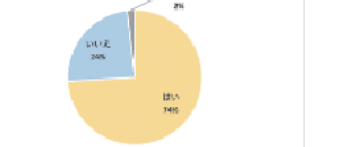
上記

8 出身地で開業をお考えですか？



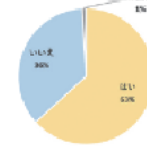
⑧出身地で開業をお考えですか？
約6割の回答者が地元、出身地で開業を考えていて1割の回答者が開業済という結果で全体で7割となった。地元、出身地で社会貢献したいと思う方が7割いるという事は、地方鍼灸師団体にも大きく貢献できる機会があると思われる。このようなイベントに参加して下さる方を対象として、ますます集団の魅力、各地方鍼灸団体の活動を発信し知って頂くことが大事なことではないだろうか。

9 鍼灸、療養費等の問題で相談できる方はいませんか？



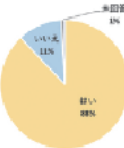
⑨鍼灸、療養費等の問題で相談できる方はいませんか？
約7割の方が相談できる相手があると回答をした。どういった相談相手なのか、相談していない3割を深掘りする必要があると思うが7割相手がいるというのは、業界として繋がりがどこかしらにあるという事だと思う。その中で7割が集団関係者ならば安心できるのではないだろうか。

10 開業鍼灸師が労働災害保険に加入できる事を知っていますか？



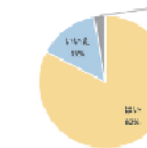
⑩開業鍼灸師が労働災害保険に加入できる事を知っていますか？
約6割の回答者が知っていると答えた。半数以上の方が認知している。日本鍼灸師会でも大々的に加入を促しているの、加入者増加が見込め、知らない方の認知度も高まっているのではと考えられる。

11 海外での鍼灸に興味がありますか？



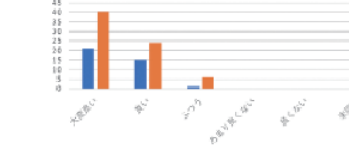
⑪海外での鍼灸に興味がありますか？
約9割の方が興味があると回答。日本鍼灸師会にも海外鍼灸を情報発信している事をより沢山の鍼灸師に知って頂く事が大事かと思われる。知ろうと思わずに調べ方は少ないと思われるのでこちらから過去のテキストデータなどをSNSを活用し発信し認知度を高めていけばいいと思われる。

12 災害時の鍼灸師としての活動に興味がありますか？



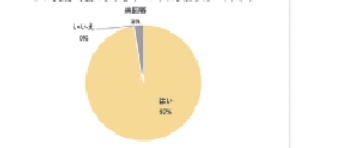
⑫災害時の鍼灸師としての活動に興味がありますか？
約8割の方が興味を示す結果となった。昨今の自然災害の増加に鑑みても関心度は高まる一方だと思われる。こちらも集団の取り組みを代々的に知って頂く事が必要だろうとおもわれる。イベントブースに災害ブース関連があってもいいと思われる。

13 今回のイベントで学びや繋がりができましたか？



⑬今回のイベントで学びや繋がりができましたか？
約9割の方が良い以上の回答を選じた。結果、イベント自体は成功だったと思われる。反省点も多いだろうが、こちらの意図である、学ぶ、繋がるを形にできたのではないだろうか。

14 今後、今回のようなイベントに参加したいですか？



⑭今後、今回のようなイベントに参加したいですか？
こちらも約9割以上の方が参加したいと回答し次回開催を期待していると思われる。継続していく事も考える必要があると思うが、今後の鍼灸イベントのあり方に一石を投じたのではないだろうか。初試みの関西開催であったが、こういった団体、企業、諸派等が集まる活動が全国に広まっていく事を期待したい。

考察・まとめ 和歌山県鍼灸師会青年委員長 松本洋二郎

参加者220名 アンケート108名と約半数の方に回答をいただいた。

今回の鍼灸イベントでは女性の参加者が多く、セミナー講師、ブース展示でも美容鍼や婦人科専門の団体に参加していただくなど現在の鍼灸トレンドを押さえた運営側の意図がアンケート結果に反映されていると思われる。女性鍼灸師の社会的ニーズが高まり活躍の場が増えていきそうである。

来場者の県別割合では開催地である大阪府が圧倒的に多く、他近畿ブロックでは兵庫、京都とつづいている、地理的な理由、鍼灸養成校の有無も関係しており都市部集中となるのは致し方ないところであるが、地方からの来場者、イベントの認知度を高めて行く必要がある。地元で開業したい、開業済みという方が約7割と地元で開業と考える方が多くなっている。各地域鍼灸師会の特徴をイベントで発信し認知いただくことが重要だと思われる。

セミナー、鍼灸デモブースともに、場所と時間の制約は多分にあったが各講師先生方、鍼灸諸派講師先生方が時勢に合った講義を行ってくださったことで大盛況になったと思われる。

企業アンケートではスペースの狭さが問題となっていることがよくわかるが、イベント自体に対するクレームが一切ない結果から参加する意義がうまれていると思われる。

今後、場所の選定やスペース問題、協賛金など多方面の角度から考えていく必要がある。

日本鍼灸師会に興味をもっていただくこと、認知度を高めるのもイベントの役割であるが、今回のイベントでは沢山の方に日本鍼灸師会の取り組みである、療養費制度、労働災害保険の加入推進、海外鍼灸の興味、災害時の鍼灸師としての興味など、どれも6割以上の良い反応があったと考察できる。今後の日本鍼灸師会の取り組みに関心をもっていただいたのではないだろうか。

今回の鍼灸関連イベントが初参加という方が5割もあり、学生、鍼灸師歴3年以内の若手鍼灸師の参加者が6割以上と若手鍼灸師、鍼灸学生の繋がりをテーマとしたイベントにマッチしている。9割以上の方が学びや繋がりをもち帰っていただき、9割以上がまた参加したいと回答している。協賛企業、鍼灸諸派の皆様よりお褒めの声を沢山いただいているので、イベント自体は概ねいい結果を得られたのではないかなと思われる。

第2回 府民公開講座

令和6年10月6日(日)

筋トレディサービスくろーばーにて、第2回府民公開講座を開催。12名の府民の方々に受講いただきました。



第19回 大阪聴力障害者協会ゲートボール大会に参加して

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会 委員 山本 桂子

11月4日、大阪聴力障害者ゲートボール大会のボランティア活動に三宅先生と一緒に参加させていただきました。

当日はとてもよいお天気で、秋らしい少しひんやりとしたスポーツをするには最適な気候となりました。

9時から開会式が始まり、軽いウォーミングアップ後、すぐに試合が始まりました。試合が始まって少しすると、ちらほらと色々な悩みをもった方々がサービスを利用しにいらっしゃいました。転倒したときに手首を痛めた方、慢性的な腰痛や肩こりで悩まれている方など、総勢10人の方がサービスを利用されました。ジェスチャーや筆談などでコミュニケーションをとりながらサービスを提供しました。サービス後、「気持ち良かった」「楽になったよ。ありがとう」とあたたかい声をかけて下さった方もいらっしゃいました。

白熱した試合が続きましたが、試合は順調に進み、予定通り15時より結果発表、授賞式、開会式となり無事終了となりました。いつもとは違った刺激を受け、とても有意義な1日となりました。



11月10日(日)に「交野市健康福祉フェスティバル」が開催されました。



～スポーツ鍼灸プロジェクト委員会～
河内長野シティマラソン 令和7年1月19日(日)
大阪マラソン 令和7年2月24日(月・振替休日)
※河内長野シティマラソン大会については、原則、河南地域の会員
準会員、学生の募集とさせていただきます。

ケアサポートボランティア募集

スポーツ臨床の現場で活躍できる！

是非、ご参加ください！

参加を希望される会員・準会員・鍼灸学生には、ランナーの方々に安心・安全にサービスを提供できる様下記日程の研修会に参加していただきます。

研修会場 大阪府鍼灸師会館(大阪市北区松ヶ枝町6-6)

日程 令和7年1月5日(日)

内容	9:00～10:00 大会当日の重要事項申し合わせ
	10:00～11:00 問診
	11:00～11:30 休憩(昼食)
	11:30～13:30 英会話研修
	13:30～16:30 実技研修

*実技研修の内容はストレッチ・テーピング・バイオネックスゼロ
セラミック電気温灸機の実践
*服装はジャージ等動きやすい格好(会館での着替えは可能)

条件 原則参加 ※鍼灸学生は参加必須

▲インフルエンザ・新型コロナウイルス等、感染症の影響による延期中止の可能性があります。
▲各マラソン大会ボランティアの参加人数をこちらから制限する場合があります。
上記▲をご理解・ご了承の上申し込みください。

参加申込
受付中

質問のある方は
daishinkai.fukyu@gmail.com
三宅までお願いします。

申し込みはこちらのフォームから→

◎募集締切-令和6年12月16日(月)まで

会員用

準会員・学生用



公認社団法人 大阪府鍼灸師会

令和6年度9月度学術講習会開催にあたり

大阪府鍼灸師会研修委員長 清藤直人

今期の学術研修も大詰めを迎えました。鍼灸業界にはかせない人気のある美容鍼を毎回取り入れるようにしています。しかし、もうすでにそうそうたる先生達をお呼びしている本会の研修で、いったい誰をお招きすれば良いのか、私には美容関係の知り合いがないので、この度セイリンさんに相談し折橋梢恵先生を紹介していただきました。お会いするまでは雲の上の存在の先生だったので、大変緊張しましたが、会った瞬間、「大阪の匂いがする」先生だと直感しました。思った通り、主催者の気持ちがわかるようなセミナー運び、時間の調整から、実技の時間はたっぷり惜しみもなく技術を披露してくださいました。私の中で美容鍼灸は敷居が高いと感じていましたが、折橋先生は、そんな流派の垣根を越えて、大変フレンドリーに接してくださいました。こんな私もますます美容鍼の虜になりそうな今回の研修でした。

さて、来年はどうしたものかと頭を悩ますところでしたが、もうすでに交渉が成立してますので来期もご期待ください。

つづいて、今井亜里紗先生に研修会レポートをまとめていただきましたので、ご一読ください。

「美顔に対する美容鍼」

「美顔に対する美容鍼 実技編」(実技供覧)

令和6年9月8日(日) 13:30~16:45 学術講習会(ハイブリッド開催)

【講師】折橋 梢恵(美容鍼灸の会 美真会 代表)

【会場】大阪府鍼灸師会館 3階

まず鍼灸の歴史の中で美容鍼灸がどのように広まっていったかの説明があり、今現在の美容鍼灸の人気や流行の理由について紐解いていただいた。様々な方法で店舗メニューとして美容鍼灸が取り入れられている。折橋式総合美容鍼灸は美顔、美髪、痩身、美肌、美姿勢のためのはり、刺さないはり、高齢者に向けてのはりを取り入れている。折橋先生は幅広い「美」に対して鍼灸を行われており、顔だけでなく全身の調節を同時に行うことで顔や身体の美につなげている。西洋医学にはない鍼灸ならではの考え方である。本日は「美身鍼」について、心と身体の両方を整えることが重要であることを具体的にお話して頂いた。

ベースは中医学に基づく鍼灸治療である。エステティック、アロマセラピー、栄養学を含めて美身鍼を行い、一つにこだわらずにいいものを積極的に取り入れた結果、総合的に施術を行っていくことにつながっている。折橋先生が美容鍼を始めた当初の接客技術の大事さを痛感した体験も話していただき、丁寧な接客についてのお話もとても興味深かった。寒い時期の配慮、飲み物、患者さんへの丁寧な対応をエステティシャンは勉強しており、鍼灸師では考慮していない点が多々あり、この細かい点が大きな差を生むというのも印象的であった。鍼灸はたくさんの可能性があるのに受診率が少ないので実際に効果を出せる鍼灸師を増やしてもっと口コミから鍼灸の良さを伝えてほしいとの言葉から折橋先生の熱意が伝わってきた。

美容鍼灸の施術の中でも即効性が高いのはリフトアップである。患者さん自身がたるみのどこが気になるかを聞くことが大事であり、施術前と施術後の変化を実感してもらうことが必要になってくる。特に初診時に効果を実感してもらえるかでリピートに繋がるかが決まる。料金よりも中身が大事であり、患者さんに満足していただき、体感していただく事が必要不可欠となる。実感が湧きやすいのは目の開き具合、視野の広がり方などで、施術後に目の開き方どうですかなどお伺いし、施術後に患者さん自身が変化を確認してもらい、美容の効果につながっていることを事細かに伝えることが大事である。

中医学的観点からみるたるみは脾と肝の機能低下によるものである。患者さんの体質などを考慮して全身の調整を行うことで顔と全身の美に繋がる。そして患者さんの生活の中で気を付けていただく食事などのアドバイスについては患者さんが絶対にできない理想論を伝えるのではなく、患者さんの生活リズムを考慮して、できることを一緒に考えることが重要である。

実技では実際の施術について丁寧に1穴ずつツボの取り方を説明して頂いた。鍼施術以外のタオルワークの工夫や、施術の順番、押し手、抜鍼など患者さん一人一人への満足感へつなげる配慮についても実際の現場での出来事と絡めてお話いただいた。美容鍼灸は広まりつつあるが、顔に鍼を刺すということに抵抗がある鍼灸師もまだまだいる。折橋先生のリスク管理の方法、ツボの選び方など患者さんにしっかり向き合っその方に合わせて丁寧に接することで信頼関係につながり、美容鍼灸のファンが増えている結果だと実感した。

大阪府鍼灸師会研修委員 今井亜里紗



令和6年度11月度学術講習会開催にあたり

大阪府鍼灸師会研修委員長 清藤直人

今期も残すところ2回となりました。今回ご講演いただいた伊佐治先生とは、東洋医療専門学校で同じ非常勤講師としての立場で学生に授業をしております。しかし、曜日が違うため面識はなく、何とかして紹介してもらい、今回の研修会となりました。不妊症と言えば、いつも女性目線で描かれたものが多く、男性が主体となるものはあまり耳にしたことがありませんでした。そこで、伊佐治先生の男性不妊に対する観点に興味をそそられました。私も10年間子どもが出来なかったので、今回の話は目から鱗の内容ばかりでした。是非、山口知先生の研修会レポートをご一読いただき、少しでもご理解いただけたら幸いです。

男性不妊症の基礎知識

(研修内容)

日本では5.5組に1組が不妊治療や不妊の検査を受けている。
昔は、原因は女性側に注目されていたが、WHOの調査によると不妊治療の割合は女性のみが原因…41%
男性のみが原因…24%
男女ともに原因…24% つまり男性側の原因も多い。
これからの時代は『夫婦ともに診る治療』が大切と考えられる。

【男性側の原因は大きく3つある】

- ①造成機能障害…精子がつかれない(原因不明が圧倒的に多い)
- ②性機能障害…EDや射精できない
- ③精路通過障害…精子の道が閉塞されている

それぞれの原因について診断を受ければOPや投薬で改善できる。
受診する事は恥ずかしい事ではない、巷の情報に左右されず、きちんと病院で検査するのが望ましい。また、泌尿器科と婦人科で基準となる数値が異なることも頭にいれておく。

【精子の基礎知識】

・精子は毎日作られているが、精子ができるまで74日(約3ヶ月)かかる。
・精子は熱に弱い。そのため精巣は唯一体外に出ている臓器。
インフルエンザ、コロナなどにより高熱がでると精子は死んでしまう。そこから造成するのに約3ヶ月かかる。つまり女性でいう3周期は治療しても妊娠率が下がっている状態。
手洗い、うがいなど日々の生活から意識することが大切である。

【夫婦生活のタイミング】

精子は2、3日生きるといわれているが、卵子は受精しないと死んでしまう。
つまり排卵の5日前くらいから3日以上タイミングをとるとよい。必ず排卵前に行くこと。近年では、排卵チェッカーも薬局で販売されており、病院に行かなくても簡単に自分で調べることが可能となった。

【いい精子とは】

禁欲しすぎず、リラックスした状態、高い興奮状態で射精すると精子に気持ちののる!

【鍼灸治療】

・鼠径部への鍼通電刺激
ディスポーザブル鍼(直径0.20mm、長さ40mm)を左右の鼠径部(精巣の支配神経領域)に刺入する。刺激頻度は10Hz、刺激時間は10min、刺激強度は痛みの起こらない最大強度。
通院期間:週に1回の頻度で3ヶ月(精子がつくられる期間)
考察→鍼通電刺激により交感神経活動の亢進が起き、精巣の血管収縮力が向上し、精巣の血液循環が上昇すると考えられる。
・中脘穴の骨膜刺激
ステンレス製毫鍼(0.30mm、60mm)を仙骨部(第3後仙骨孔直上)から頭側方向へ仙骨に沿わせるように刺入し、10分間の徒手刺激をおこなう。
考察→副交感神経活動の亢進が起き、血管が拡張され、精巣の血液流入量が増加すると考えられる。

(感想)

私も不妊治療をしていたので大変興味深い内容でした。
少しずつ男性不妊についても聞くようになりましたが、まだまだ浸透していません。
海外では、夫婦生活は愛情表現の一つとされているのに対し、日本では妊活の一つとされ義務的意識が大きいようです。近年では働く女性も多いので、疲れているからしたくない、時間がない、するなら早く寝たい、という言葉もよく耳にします。夫婦生活は癒しではなく、むしろ罰ゲーム感覚。時代の流れも大きく影響していますが、結婚前を思い出してみよう!お互い思い合い、尊重した気持ちがあり幸せいっぱいでした。その時のセックスは満たされたものだったと思います。『結婚すれば子供ができる』といのは当たり前ではなくなった今、お互いを見つめ、思い合ういい機会かもしれません。妊娠は一人ではできません。女性だけが病院へ行けばいいわけでもありません。痛い検査、飲みたくない薬、注射、周期に振り回される生活、生理が来た時の悲しさ、性格がどんどん悪くなっていく感覚……すべて女性にだけにストレスを与えていませんか?仕事だから無理、恥ずかしいから病院へいきたくない、その一言で女性は絶望を覚えます。無関心ほどの暴力はありません。男性が検査を受けるだけで女性の無駄な検査や治療が省かれることもあります。男性も女性も日々の何気ない暮らしが夫婦生活に影響することを理解してほしいと思います。気持ちの乗らないセックスの妊娠率は低いと言います。まずはお互いが満たされる環境づくり、心から「ありがとう」と言い合えるところからはじめませんか。

以上

令和6年11月10日(日)

【講師】伊佐治景悠先生(SR鍼灸グループ総院長 鍼灸師)

【会場】大阪府鍼灸師会館3階、WEB



大阪府鍼灸師会研修委員 山口 知



霊枢勉強会報告

〈講師〉日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

〈会 場〉大阪府鍼灸師会 会館3階

第42回 | 令和6年(2024年)9月8日(日)

〈出席者〉会場参加者 19名

○『黄帝内經靈樞』 口問(こうもん)第二十八・第九章

○01 黄帝曰。 02 人之哀而泣涕出者。 03 何氣使然。

01 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、 02 人の哀しみて泣涕(きゅうてい)出(い)づる者は、 03 何(いず)れの氣(き)か然(しか)らしむ、 と。

(解説)
02節の「悲しみて泣涕(きゅうてい)出づる」という状態を病氣と考えるのか、否かということがある。 悲しみというものは、原因が無くならないと治療でどうこうなるものではない。 たとえば、喘息の患者さんが居るとして、喘息が治らないという場合、大抵、原因がある。 その原因というものは、周りの人たちがどうこう出来るものではなくて、そういうことが結構ある。 原因がある間、症状はずっと続き、治療だけでは解決し得ない。

*02節の「泣涕(きゅうてい)」であるが「泣(きゅう)」は、なみだ、『涕(てい)』というのは、はなみずのことである。

○04 岐伯曰。 05 心者。 06 五藏六府之主也。 07 目者。 08 宗脈之所聚也。 09 上液之道也。 10 口鼻者。 11 氣之門戸也。

04 岐伯(きはく)曰(いわ)く、 05 心(しん)は、 06 五藏六府(ごそうろっふ)の主(しゅ)なり。 07 目は、 08 宗脈(そうみやく)の聚(あつ)まる所(ところ)なり。 09 上液(じょうえき)の道なり。 10 口鼻(こうび)は、 11 氣(き)の門戸(もんこ)なり。

(解説)
*08節の宗脈(そうみやく)」というのは、「五藏六府(ごそうろっふ)の精(せい)というのが、みなあつまるところ」である。

*07節「目(め)」: からだの状態を顕著にあらわすのが目である。 目を見ると相手の氣の状態がよくわかる。 目は精氣(せいき)があつまるところである。

*09節の「上液(じょうえき)の道なり」というのは“なみだ”で潤うということから液を上(のぼ)らせる、その場所だと言う。

○12 故悲哀愁憂則心動。 13 心動則五藏六府皆揺。 14 揺則宗脈感。 15 宗脈感則液道開。 16 液道開。 17 故泣涕出焉。

12 故(ゆえ)に悲哀愁憂(ひあいしゅうゆう)すれば則(すなわ)ち心(しん)動く。 13 心(しん)動けば則(すなわ)ち五藏六

府(ごそうろっふ)皆(み)な揺(ゆら)く。 14 揺(ゆら)けば則(すなわ)ち宗脈(そうみやく)感ず。 15 宗脈(そうみやく)感ずれば則(すなわ)ち液道(えきどう)開(あ)く。 16 液道(えきどう)開(あ)くる、 17 故(ゆえ)に泣涕(きゅうてい)出(い)づ。

(解説)
*ひとのこころというのは、自ら動くわけではない。 これはあくまでも他律的なものである。 自ら怒ることも、自ら悲しむことも、自ら喜ぶこともできない。 喜びも悲しみも怒りも、すべて外からやってくる。 自らの意識で勝手に怒ったりしているように見えるが、意識・感情というものはそういうものではないように思う。

風寒暑濕(ふうかんしょしつ)は人間の意志で、どうこうなるものではない。 悲しみ、喜び、憂いも自ら変えられない。 自ら意識して感情を変えられるように思うが、自分の意志というのはその上で活動していることであって、悲しみや、憂い、喜びなどを避けることはできない。 それで「心(しん)」が動く。「心(しん)」というのは七情(しちじょう)をつかさどる場所である。「心(しん)」が動ずれば五藏六府(ごそうろっふ)が、みな動ずる。 これは七情を説明している。 七情というものは五藏六府(ごそうろっふ)、つまり陰(いん)の部分すべてに影響を与える。 これらに影響を与えると、宗脈(そうみやく)にその影響がおよぶ。 宗脈(そうみやく)が影響を受けると、液道(えきどう)が開き、目から“なみだ”が、鼻から“はなみず”が出て来る。

*高齢になると涙目になる。泣いているわけでもないのに涙が止まらないということがある。 ここでは、あくまでも七情の氣による“なみだ”についての説明である。

○18 液者。 19 所以灌精濡空竅者也。

18 液(えき)は、 19 精(せい)を灌(そそ)ぎ空竅(くうきょう)を濡(うるお)す所以(ゆえん)の者なり。

(解説)
*18節の「液(えき)」である。 後の時代には「津液(しんえき)」という言葉が出て来るが『素問(そもん)』や『靈樞(れいすう)』の中では「津(しん)」と「液(えき)」というものはあまり使われない。 ここで、ひろく言われている「液(えき)」というものは液体成分を指す。

*19節の「空竅(くうきょう)」というのは「まなこ」の部分を目指す。

*張介賓(ちようかいひん)という人はこうに言っている。「精由液而化、孔竅得液而充、故以灌精濡孔竅也。

【精(せい)は液をして化(か)し、孔竅(こうきょう)液をして充(み)つる。故(ゆえ)に以(もつ)て精(せい)を灌(そそ)ぎ、孔竅(こうきょう)を濡(うるお)すなり。】

*“精(せい)”の氣というのは、通常でも上るのであるが、陰が虚(きょ)すと、もっともっと上り過ぎて涙がどんどん出て来る。

○20 故上液之道開則泣。 21 泣不止則液竭。 22 液竭則精不灌。 23 精不灌則目無所見矣。 24 故命曰奪精。

20 故(ゆえ)に上液(じょうえき)の道開(あ)けば則(すなわ)ち泣(なみだ)あり。 21 泣(なみだ)止(や)まざれば則(すなわ)ち液(えき)竭(つ)く。 22 液(えき)竭(つ)けば則(すなわ)ち精(せい)、灌(そそ)がず。 23 精(せい)、灌(そそ)がざれば則(すなわ)ち目(め)見る所(ところ)無し。 24 故(ゆえ)に命(な)づけて奪精(だつせい)と曰(い)う。

(解説)
*本当に涙が止まらなくて、最後に目が見えなくなるかどうかというのはわからない。 ここでは、どんどん液が出てくるということで、液が尽きてしまうということがあるのだと言っているのだろう。

○25 補天柱經挾頸。

25 天柱(てんちゅう)、經(けい)の頸(くび)を挾(はさ)むを補う、 と。

(解説)
*「天柱(てんちゅう)」と「經(けい)の頸(くび)を挾(はさ)む」というのは同じ意味である。 天柱穴を治療しなさいと言っている。

※『靈樞』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。 次回は2024年 11月10日(日)、『靈樞』師傳(しでん) 第二十九」です。

(靈樞のテキストは現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください)

(靈枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

第43回 | 令和6年(2024年)10月13日(日)

〈出席者〉会場参加者 15名

○『黄帝内經靈樞』 口問(こうもん)第二十八・ 第十一章

○01 黄帝曰。 02 人之涎下者。 03 何氣使然。
01 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、 02 人(ひと)の涎(よだれ)下る者(もの)は、 03 何(いず)れの氣(き)か然(しか)らしむ、 と。

○04 岐伯曰。 05 飲食者。 06 皆入于胃。 07 胃中有熱。 08 則蟲動。 09 蟲動則胃緩。 10 胃緩則廉泉開。 11 故涎下。
04 岐伯(きはく)曰(いわ)く、 05 飲食(いんしょく)は、 06 皆(み)な胃(い)に入(い)る。 07 胃中(いちゅう)、熱(ねつ)があれば、 08 則(すなわ)ち蟲(むし)動く。 09 蟲(むし)動けば則ち胃(い)緩(ゆる)まる。 10 胃(い)緩(ゆる)まれば則(すなわ)ち廉泉(れんせん)開く。 11 故(ゆえ)に涎(よだれ)下る。

○12 補足少陰。 12 足の少陰(しょういん)を補(おぎな)う、 と。

○口問(こうもん) 第二十八のまとめ

*「周痺(しゅうひ)第二十七」や「口問(こうもん)第二十八」の解説は、上側をさらっとなでて終わってしまうというのが通常であろうか。 これらの篇については解説のしようがないと考えられている。 しかし、わたしはそうには思わない。 たとえば「口問(こうもん)第二十八」の篇全体のことを考えてみよう。 まず症状があり、治療に使う経脈(けいみやく)がある。 当然、これらは愈穴(ゆけつ)の機序がある。 現れた症状に対して、かならず病(やまい)の機序がある。 症状あるいは病名がある。 そして、それぞれの症状に病の機序がある。 そして選経(せんけい)、経脈を選ぶことや、選穴(せんけつ)、つぼを選ぶことが行われる。

*ここで病の機序を無くすとどのようになるか、 それは『明堂(めいどう)』という書物の記述ようになる。 ただし『明堂(めいどう)』に書かれているのは主治穴(しゅじけつ)であって主治経脈(しゅじけいみやく)ではない。 主治経脈、主治愈穴というものを残すと『明堂』の記述に近いものとなる。 しかし、まだ『明堂』の記述に至るまでのものでもない。 この篇では足の経脈(けいみやく)が書かれている。 足の経脈(けいみやく)には、たくさんのつぼがある。 一つの経脈にもたくさんのつぼがあり、どのつぼを使うのが問題になる。 たとえば、足の少陰(しょういん)という経脈を補(おぎな)うと言っても、これでは問題は解決しないのだ。

*この時にどのように考えるのか。 ここでの考え方には二つある。

一つは黄龍祥(こうりゅうしょう)氏が言われているように、経脈(けいみやく)の名前が書かれていたら、その経脈のつぼはすでに決まっているという考え方である。 この篇での記述は、つぼの名前を隠して経脈の名前を書いてあるという考えである。

*もう一つの考え方はこうである。 足の少陰の経脈には、たくさんのつぼがある。 その内の原穴(げんけつ)を使うという考え方である。 あれこれと考えるのでは無くて、原穴を使うのだ、というものである。

*経絡治療という治療を考案した人たちの出発点は、症状があって、病の機序があって、選穴するということでは無かった。 経絡治療を始めたひとたちが行ったのは、脈を診て、そして経絡の虚(きょ)と実(じつ)を決め、たとえば肺経の虚証(きょしょう)というふうに決まったら、もう症状も病の機序もなく治療に進んでいく。 この篇の第十一章、第01～12節になぞらえて言えば、第01～03節が病名、第04～11節が病の機序、最後の第12節が治療に使う経脈(けいみやく)を選ぶということであるが、ここで経絡治療の人たちが採った方法は、第01～11節のプロセスを脈診による経脈(けいみやく)の虚実の別に置き換えたというものである。 経脈の虚実(きょじつ)に置き換えて、たとえば肺経虚証と診断した場合には、第12節にて言っているように使う経脈がすぐに出て来るのである。

しかし、ここにまた難問が生じて来る。 次に出てくる難問はこうである。 肺経虚証(はいけい・きょしょう)の時に、肺経を補うだけで良いのかという問題である。 肺経(はいけい)を補って、では脾経(ひけい)や腎経(じんけい)あるいは陽の経脈(たとえば「手の陽明大腸経」)はどうすれば良いのかという問題が出て来る。 もう面倒だから、ほかの経脈は考えないという考え方がひとつある。 鍼や灸を行うひとには「考えないを選ぶ」、そんなこともあるように思う。

経絡治療を考案した人たちも、経脈の中からひとつが選ばれた時に、どうしたら良いのだろうと考えたに違いない。 その時、選ばれて出てきた経脈(けいみやく)の中から原穴(げんけつ)を使うという方法を探ることも出来よう。 そういう考え方もあったろう。 他の考え方としては、選ばれた経脈の中のどれかのつぼを、現れている症状に合わせて、たとえば、症状が涎(よだれ)であったら、選ばれた経脈の中から涎(よだれ)の主治に使えるつぼを探して、そのつぼを使うということも考えられたであろう。 頭が重いという症状があったとして足の少陰(しょういん)の経脈があらかじめ選ばれていたなら、この経脈に所属する頭の重い症状を主治とするつぼを探して使うということも考えられたと思う。 つまり主治病症でつぼを選ば

うということも、ひとつ考えられたと思う。

*ここまでにわたしが言ってきたつぼを選ぶ方法は可能性として言ったわけであるが、現在に残っている選穴論、つぼの選び方を見ると、まったくそれらをやってきた形跡は見えない。

治療に使う経脈(けいみやく)が、たとえば手の大陰経(たいいんけい)、肺経(はいけい)虚証(きょしょう)と決まった時、困ったと思う。 合理的な選穴をする必要がある時に主治病症を採用しないのであれば、どの方式を使ったら良いのかは、これは迷ったと思う。 その時、もっとも使いやすかったのは『難經(なんぎょう)』という本の「六十九難(ろくじゅうきゅうなん)」という篇を持つてくることであった。 この篇を持つてくると、なにが出て来るのかといえは、経脈(けいみやく)が決まると、つぼが決まる、というものであった。

※参考までに『難經(なんぎょう)』「六十九難」の経文を置いておきます。句読の区切りは適当なのでご指摘はご容赦願いたい。(松本)

※『難經』「六十九難」
六十九難曰 經言 虚者補之 實者瀉之 不實不虚 以經取之 何謂也

然 虚者補其母 實者瀉其子 當先補之 然後瀉之

不實不虚 以經取之者 是正經自生病 不中他邪也

當自取其經 故言以經取之

・参考文献
『難經集注(なんぎょうしつちゅう)』周秦越人選・明王九思等集注
臺灣中華書局 発行、中華民國六十六年二月 第三版

※『靈樞』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。 次回は2024年 12月8日(日)、『靈樞』「決氣(けつき) 第三十」です。(靈樞のテキストは現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください)

(靈枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

12月・1月研修事業のご案内

令和6年度12月、1月度研修事業のお知らせです。

下記の要綱をご覧ください。会員の先生方におかれましては、万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。

詳細は、研修会案内をご参照下さい。

取得単位

(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉

(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

会場 大阪府鍼灸師会館 3階

受講料 会 員:1,000円 (日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外:2,000円

学 生:無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい

令和6年12月8日(日)

10:00~12:00
霊枢勉強会
(ハイブリッド開催)

演題 ・霊枢勉強会 **決気 第三十(ハイブリッド開催)**

講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

令和7年1月12日(日)

10:00~12:00
霊枢勉強会
(ハイブリッド開催)

演題 ・霊枢勉強会 **腸胃 第三十一(ハイブリッド開催)**

講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

参加申し込み方法

先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

【参加申し込み方法】

QRコード・当会ホームページ manaable(マナブル)から
参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。



<https://harikyu.manaable.com/>

お申込み締切

12月度 12月 4日(水)

1月度 12月11日(水)

ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで
連絡先: E-MAIL: study@osaka-hari9.jp

(研修委員会 清藤)

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表(11月11日現在)

1. 令和6年12月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
5	木	会費・賠償責任保険 引き落とし日		
7	土	民生労災審査相談会	会館2階	15:00~
8	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00~
27	金	事務局仕事納め		

3. 令和7年2月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
6	土	民生労災審査相談会	会館2階	15:00~
9	日	霊枢勉強会・学術研修会	会館3階+WEB配信	10:00~
24	月 (振替休日)	大阪マラソン大会	大阪城公園	

2. 令和7年1月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
4	土	新入会員オリエンテーション	シティプラザ大阪	15:30~
		令和7年新年互礼会	シティプラザ大阪	受付17:30~
5	日	マラソンボランティア研修会	会館3階	9:00~
6	月	事務局仕事始め		
8	水	民生労災審査相談会	会館2階	15:00~
12	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00~
16	木	第6回正副会長会議	会館2階	20:00~
19	日	第6回理事会	会館4階	13:00~
19	日	河内長野シティマラソン大会	関西サイクルセンター	